

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0701	曜日時間	不定期
授業科目	老年看護学概論						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	高齢者の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解し、生活の質の維持・向上を支援する医療・保健・福祉のネットワークを活用しながら、高齢者の生活の質の維持・向上を目指す看護のあり方を学						
中核	新しい老年観の構築						
授業目標	1. 高齢者の生活と思いに触れ、個別的で複雑な発達過程やその人の価値観・信念に関心を持つ。 2. 高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。 3. 老いることを肯定的にとらえ、その人の生活や人権を尊重・擁護する態度で関わる。 4. 高齢者の生活を支援するための医療・看護・福祉のネットワークを知る。 5. 高齢者の健康生活を支える老年看護の特徴と役割を理解する。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	15	I. 高齢者のケアの実践と高齢者の理解 「新しい老年観の構築」 ①加齢による形態・機能の変化と高齢者の生活困難 ②高齢者(その人)を知る－高齢者への理解－ ③高齢者(その人)の理解 －高齢者のライフヒストリー・健康観－ ④高齢者への全人的理解への手がかり －高齢者インタビュー；老年期の考察－ ⑤老年期の理解：老年期の健康 －ライフサイクル・生活の変化・多様性－ II. 高齢者の健康と生活 ①健康状態の定義と生活の質 ②高齢者の健康や生活に影響を及ぼす要素 －社会の変化と高齢者－ III. 自分たちが高齢者になる時代(理想の高齢期) ①社会の動向と保健医療福祉・介護保険制度 ②認知症になっても暮らせる社会 －家族と介護、地域の連携－ IV. 老年看護の倫理的課題と人権擁護 ①安全確保と身体拘束、権利擁護、虐待	講義 ・ 演習 ・ 調べ学習 ・ グループワーク ・ フィールドワーク ・ 視覚教材	30			
課題等	1. 講義での実際の経験を通して、毎時ノートにリフレクションしていくこと。 2. 毎講義時には、「老年に関するニュース」を必ずひとつ見つけ、ポートフォリオに入れること。						
評価計画方法	筆記試験80% レポート20%(『最期まで尊厳を保った生活を送るための、多様な面からの看護ケア』1200字以上) *出席状況(原則全日)・提出物(毎指示に於いて)が不足している場合は最終評価の減点対象とする						
テキスト参考図書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 医療情報科学研究所：公衆衛生がみえる メディックメディア						
実務歴有							
講義への反映							
備考	用意するもの 1. 「老年看護学」リフレクションノート 2. ポートフォリオ用のファイル1冊 3. 講義毎にハンドアウト資料を配布						